

第3次 福岡市中小企業振興プラン(仮)への改定について

1. プランの背景等

- 市内中小企業が直面する課題
 - 社会経済活動の活性化に伴い、ほぼすべての分野で「人手不足」が深刻化している。(表1)
 - 原油や物価の高騰・継続的な賃上げ等、コスト上昇への対応が求められる。(表1)
 - デジタル化に取り組む事業者は、全体で83.4%となっているが、取組みの進捗に格差が生じている。(図1)
 - 事業承継は「候補者未定」「今は考えていない」と回答した経営者が45.2%に及び、事業承継の遅れが目立つ。(図2)
- 国の施策の方向性 ※内閣府『経済財政運営と改革の基本方針2024』より一部抜粋
 - 人手不足への対応として自動化技術等の省力化投資に対する集中的支援を行う。
 - 中堅・中小企業の稼ぐ力を強化するため、事業再構築(事業承継及びM&Aの環境整備を含む)、新製品開発や新市場の開拓、イノベーションの創出、DX・GXの取組を促進する。
 - 中堅・中小企業が外需を取り込むための挑戦を後押しする。

【令和6年度実施「福岡市中小企業振興に関するアンケート」より一部抜粋】

(表1)今後の事業展開における課題上位

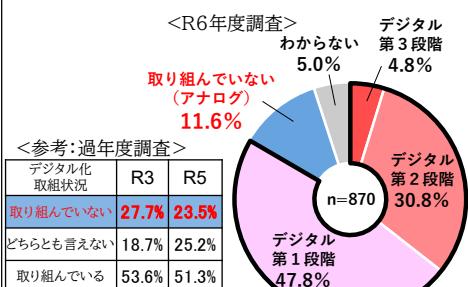
順位	R4年度 (n=731)	R5年度 (n=823)	令和6年度 (n=921)
1位	人材の育成 44.5%	人手不足 52.7%	人手不足 62.3%
2位	人手不足 43.2%	人材の育成 45.6%	人材の育成 56.4%
3位	資金調達 26.7%	コスト削減 31.8%	価格転嫁 31.6%
4位	国内の販路 拡大 25.2%	価格転嫁 30.4%	生産性の向上 30.9%
5位	コスト削減 23.5%	生産性の向上 22.5%	コスト削減 28.3%

<運輸業>			
順位	令和4年度 (n=51)	令和5年度 (n=61)	令和6年度 (n=28)
1位	人手不足 62.7%	人手不足 78.7%	人手不足 89.3%
2位	人材の育成 51.0%	人材の育成 54.1%	人材の育成 67.9%
3位	価格転嫁 35.3%	価格転嫁 41.0%	価格転嫁 46.4%

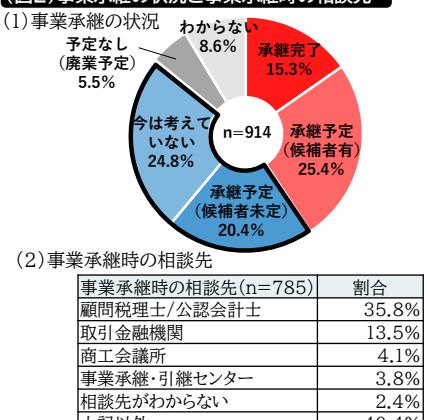
<飲食業>			
順位	令和4年度 (n=83)	令和5年度 (n=84)	令和6年度 (n=78)
1位	人手不足 66.3%	人手不足 70.2%	人手不足 82.1%
2位	人材の育成 56.6%	コスト削減 40.5%	人材の育成 56.4%
3位	コスト削減 38.6%	人材の育成 39.3%	価格転嫁 51.3%

順位	令和4年度 (n=9)	令和5年度 (n=99)	令和6年度 (n=111)
1位	人手不足 59.8%	人手不足 66.7%	人手不足 80.2%
2位	人材の育成 56.1%	人材の育成 52.5%	人材の育成 69.4%
3位	資金調達 25.6%	価格転嫁 26.3%	価格転嫁 35.1%

(図1)デジタル化の進捗状況



(図2)事業承継の状況と事業承継時の相談先



2. 第3次プランの概要

▶ プラン名称

『第3次福岡市中小企業振興プラン(仮)』

※「福岡市中小企業振興条例」の基本計画として、条例に準じた名称に改定する。

▶ プラン位置づけ

・福岡市中小企業振興条例の基本計画

・福岡市総合計画の分野別計画

▶ プラン計画期間

4年間(令和7年度から令和10年度末まで)



3. 取組みの方向性

(めざす姿)直面する経営課題に柔軟に対応し、利益を生み出し続ける中小企業が増える

強化

①人手不足の対策と生産性の向上

【めざす姿】

限られた人的資源を限られた地域・分野で奪い合うのではなく、以下をポイントに取り組みを強化する。
・徹底した生産性向上の促進
・本人の希望や能力に応じた活躍促進
・海外人材の活躍促進

3つの柱

②経営基盤の強化と持続的発展

【めざす姿】

・融資や販路開拓により、経営基盤の強化が図られている。
・商店街や伝統産業の振興などにより地域経済の活性化が図られている。

③新しい価値・ビジネスの創出

【めざす姿】

・新しい価値やサービスの創出にチャレンジするスタートアップ企業が増える。
・国内外から企業や人が集まることで経済が活性化する。

【主な支援策】

- ・デジタル化、IT・DX化の支援
- ・人材の確保への支援
- ・人材の定着への支援
- ・事業承継・事業・業務転換への支援
- ・海外人材の活躍促進

【主な支援策】

- ・資金供給の円滑化、経営相談
- ・公共工事など受注機会の確保
- ・商店街、伝統産業の振興

【主な支援策】

- ・スタートアップへの支援
- ・成長分野の企業の集積
- ・輸出や海外展開
- ・観光・MICE振興

4. 計画の目標値、計画の推進

▶ 計画の目標値

成果指標: 檢討中

※その他、3つの柱ごとに指標を設け、年度ごとに進捗管理を行う。

5. 今後のスケジュール

年度	令和6年度			R7	
月	7～9月	10～12月	1～3月	4～5月	6月
事項	改定の提案	素案の報告	原案の報告	パブコメ実施	成案の報告
プラン	審議会(8月)	議会報告(9月)	審議会(11月)	議会報告(12月)	※審議会報告(書面)
				議会報告(3月)	議会報告(書面)
				パブコメ	全議員配付